

地域回覧用

# 小原中部小学校 校長だより 【遊屋の丘】

\*\*\*\*\*  
令和8年10月9日

第17号

文責 校長 釜屋雄一

\*\*\*\*\*

## 中部小写真展 その6

令和8年4月～9月 担任が厳選した、珠玉の一枚

・・・5年 朝の会の活動「サークルトーク」で自他を知る・・・



5年生の教室では、朝の会で5分間の「サークルトーク」に取り組んでいます。子どもたちが輪になって座り、テーマについて話したい人が挙手をして、ボールを持った人が自分の考えを語ります。写真は、琳太郎さんの発言を聞いた瞬間の様子です。思いもよらない意見に出会い、話し手に視線が集まっています。

「努力は報われるのか」「友達の条件とは何か」といった哲学対話のようなテーマの日もあれば、「旅行に行くなら冬の北海道か、夏の沖縄か」といった気軽なテーマの日もあります。話したくない人は無理に発言しなくてもよいことになっていますが、不思議なことに、毎回ほぼ全員が一度は自分の考えを話しています。

学級には10人の仲間がいますが、じっくり話を聞いてみると、同じ出来事に対する考え方や価値観は一人一人違います。「そんな考え方があったんだ」「自分とは違うな」と気付く場面も少なくありません。この活動のよさは、自分の思いを伝えるだけでなく、仲間の考えを知り、違いを認め合えることにあります。

社会生活では、自分と違う意見に出会ったときこそ、相手を理解しようとする姿勢が大切になります。サークルトークを通して、子どもたちは「自分を知ること」と同時に「相手を知ること」も学んでいます。その積み重ねが、互いを尊重しながら豊かな人生を送る力に直結していくと思います。